

# 新地町地域防災計画

## 資料編

## 資 料 編 目 次

資料	新地町の主な災害	4
資料	重要水防区域調書	1 0
資料	急傾斜地崩壊危険箇所調書（自然斜面）	1 0
資料	土石流危険溪流調書	1 1
資料	山腹崩壊危険地区調書	1 1
資料	崩壊土砂流出危険地区調書	1 2
資料	砂防指定地	1 2
資料	海岸保全区域（農林水産省関係）	1 2
資料	自主防災会及び女性消防隊	1 3
資料	消防団員等の現有勢力調	1 3
資料	休日及び勤務時間外の気象通報連絡表	1 4
資料	避難場所の所在地及び収容人員等	1 4
資料	町内ガソリン給油所一覧表	1 5
資料	町内米穀販売業者一覧表	1 5
資料	「災害救助法による救助の程度、方法及び期間」早見表	1 6
資料	医療機関及び医薬品調達先一覧表	1 7
資料	医薬品販売店	1 7
資料	消毒方法薬剤所要量の算出方法	1 7
資料	ごみ処理、し尿処理施設一覧	1 7
資料	新地町の指定文化財	1 8
資料	平成8年度福島県地震・津波被害想定調査	2 2
資料	平成19年度福島県津波想定調査	2 4
資料	平成30年度津波浸水想定調査	2 5
資料	平成23年東北太平洋沖地震 市区町村別津波浸水範囲の土地利用別面積（国土地理院）	2 6
資料	気象通報等受理伝達簿	2 7
資料	新地町被害（調査）票	2 8
資料	被害報告書様式	2 9
資料	避難命令及び状況報告簿	3 7
資料	避難所収容者名簿	3 7
資料	避難所収容台帳	3 7
資料	避難所用物品受払簿	3 7
資料	避難所設置及び収容人員	3 8
資料	避難所開設用施設及び器物借用簿	3 8
資料	救出車両、その他機械器具調達先報告書	3 8
資料	被災者救出状況記録及び修繕簿	3 8
資料	被災者救出用機械器具燃料受払簿	3 9
資料	救助実施記録日計票	3 9
資料	障害物除去該当者調	3 9
資料	障害物除去該当者選考調書	4 0

資料	障害物除去の状況	4 0
資料	輸送記録簿	4 1
資料	救助の種目別物資受払状況	4 1
資料	炊出し給与簿	4 2
資料	食糧品現品給与簿	4 2
資料	炊出しその他による食品給与物品受払簿	4 2
資料	炊出し用物品借用簿	4 3
資料	飲料水供給記録簿	4 3
資料	給水用機械器具燃料及び浄水用薬品資材受払簿	4 3
資料	給水用機械器具修繕簿	4 3
資料	応急給水（給水施設応急復旧）機械器具 薬品調達先	4 4
資料	救助物資購入（配分）計画表	4 4
資料	世帯員別被害状況	4 5
資料	救助物資受払簿	4 5
資料	救助物資引継書	4 5
資料	救助物資給与及び受領簿	4 6
資料	被災使用教科書等調	4 6
資料	患者移送車両	4 6
資料	救護班編成及び活動記録	4 6
資料	診療所医療実施状況	4 7
資料	救助の種目別物資受払状況	4 7
資料	助産台帳	4 7
資料	災害防疫経費所要見込額調	4 8
資料	伝染病院隔離病舎災害復旧費所要額調	5 0
資料	ねずみ族、昆虫等の駆除申請手続	5 1
資料	災害防疫業務完了報告書	5 2
資料	救助の種目別物資受払状況	5 2
資料	遺体の搜索状況記録簿	5 3
資料	遺体処理台帳	5 3
資料	埋葬台帳	5 3
資料	学用品購入（配分）計画表	5 4
資料	被災教科書一覧表	5 4
資料	教科書購入（配分）計画表	5 4
資料	応急仮設住宅入居該当調	5 5
資料	応急仮設住宅該当対象者選定調書（住宅の応急修理施行）	5 5
資料	応急仮設住宅台帳	5 5
資料	住宅応急修理記録簿	5 6

## 新地町の主な災害

発生年月日	災害種別	災害状況	被害状況
明治 元年8月11日	新地大火	戊辰戦争の兵火により、小川、富倉、大戸浜の一部の密集地の家屋焼失	小川、富倉、大戸浜の密集地家屋38余戸全焼
元年8月11日	上の町大火	戊辰戦争の兵火により、上の町、新町の密集地の家屋焼失	上の町、新町の密集地家屋100余戸全焼
10年4月1日	新地山火事	山の火入から、梅木沢地内の私、村有林に延焼拡大した	私、村有林等110ヘクタール
26年2月16日	上の町大火	提灯の不始末から出火、茅葺隣家へと次々に延焼拡大した	上の町、新町の家屋26戸全焼、損害額1万5千円
昭和 4年1月15日	上の町大火	提灯の不始末から出火、茅葺隣家へと次々に延焼した	上の町の家屋9戸全焼
28年4月18日	上猿田大火	残り火から出火、茅葺隣家へと延焼した	上猿田の家屋4戸全半焼
32年1月5日	高田大火	子供の火遊びから出火、飛び火により隣家へと次々と延焼した	高田の家屋5戸全焼
36年12月20日	新地村役場火災	木造平屋建て庁舎一棟焼失した(原因不明火災)	木造平屋建て庁舎一棟404.147㎡全焼、負傷者5名
37年4月7日	今泉公会堂火災	いろりの不始末から出火、木造平屋建て公会堂焼失した	木造平屋建公会堂一棟79.2㎡全焼、損害額84万円
37年5月14日	大洋館火災	木造二階建て旅館から出火、隣家へと延焼した	木造2階建旅館外5棟708.5㎡全焼、死者1、負傷者2名、損害額1,111万円
37年6月30日	相馬高校新地農学部火災	いろりの不始末により出火、加工所と作業所焼失した	木造平屋建加工所、作業所2棟264㎡全焼、負傷者3名、損害額254万1千円
40年2月13日	駒ヶ嶺小学校火災	放火により出火、二階教室の一部を焼いた	木造二階建校舎二階教室部分焼、損害額3千円
40年2月19日	新地小学校火災	木造平屋西校舎焼失した(原因不明火災)	木造平屋建西校舎1,227.6㎡全焼、負傷者2名、損害額1,516万3千円
41年10月2日	駒ヶ嶺小学校火災	木造二階校舎一棟焼失した(原因不明火災)	木造二階建校舎一棟1,874.4㎡全焼、負傷者2名、損害額2,000万円
50年8月1日	新地高等学校火災	木造平屋校舎一棟焼失した(原因不明火災)	木造平屋建校舎一棟836.65㎡全焼、損害額632万9千円

〔気象災害〕

明治26年5月25日	水 害	激しい大雨で各河川が増水氾濫し家屋の浸水、農作物に被害もたらす
30年2月20日	地 震	県下全域に強い地震があり当地方でも家屋の倒壊等被害もたらす
30年9月9日	水 害	激しい大雨で河川が増水氾濫し家屋の浸水、農作物に被害もたらす
36年4月24日	霜 害	当地方一帯に霜が降り、桑に大被害もたらす（桑葉の減収2割）
36年5月11日	霜 害	県下全域に霜が降り桑に大被害もたらす（桑葉の減収6割）
36年9月23日	水 害	集中豪雨により新地、駒ヶ嶺の各河川が氾濫し農作物に被害もたらす
38年8月17日	水 害	集中豪雨により低地での家屋に浸水被害もたらす
40年8月27日	水 害	集中豪雨により駒ヶ嶺地内の河川氾濫農作物に被害もやらす
41年9月29日	水 害	集中豪雨により各河川が氾濫し農作物に被害もたらす
43年8月13日	水 害	集中豪雨により低地での家屋に浸水被害及び農作物に被害もたらす
44年6月28日	水 害	集中豪雨により駒ヶ嶺地区の田畑が冠水し大被害もたらす
45年5月11日	霜 害	県下全域に霜が降り当地方の桑園に被害もたらす（相双地方の2,050町歩に被害）
大正元年8月31日	水 害	台風による大雨で各河川が氾濫、低地での家屋に浸水被害もたらす （相馬郡内で150戸浸水）
2年8月26日	水 害	台風による大雨で河川の堤防いたるところで決壊被害もたらす
8年10月31日	水 害	大雨で河川が増水氾濫し、低地の家屋が浸水、常磐線不通となる
9年5月7日	水 害	集中豪雨となり河川が氾濫駒ヶ嶺地区の田畑に被害もたらす
9年10月1日	水 害	集中豪雨となり河川が増水氾濫し低地での家屋に被害もたらす
10年9月7日	水 害	集中豪雨となり田畑に被害がでた又、常磐線が不通となった
10年10月10日	水 害	当地方暴風雨となり家屋の浸水、橋の流失など大被害もたらす
14年8月14日	水 害	台風による大雨で各河川が増水氾濫し家屋の浸水被害もたらす （雨量330ミリを記録）
14年9月3日	水 害	集中豪雨となり家屋の浸水や農作物に大被害もたらす（雨量339ミリ）
昭和2年8月6日	地 震	午後6時14分発生、震源地は阿武隈川河口付近、家屋倒壊被害もたらす（震度4～5）
3年7月26日	水 害	集中豪雨となり河川氾濫し田畑の冠水、家屋の浸水被害もたらす （床上浸水50戸、田畑冠水50ヘクタール）
4年5月23日	水 害	台風による大雨で河川が氾濫し家屋の浸水、農作物に被害もたらす（雨量500ミリ）
5年4月23日	霜 害	当地方に霜が降り果樹等に被害もたらす（減収割合3割以上）
6年5月3日	霜 害	当地方に霜が降り桑等に被害もたらす（減収割合2割）
6年10月1日	水 害	台風による大雨で低地の家屋に浸水被害もたらす
7年11月15日	水 害	台風による大雨で河川が氾濫し田畑の冠水、家屋の浸水被害もたらす
9年9月21日	水 害	室戸台風襲来、各河川が氾濫し駒ヶ嶺地区の低地での家屋に浸水被害もたらす
9年10月1日	水 害	集中豪雨により、駒ヶ嶺地内の田畑の農作物流失大被害、家畜多数死ぬ、常磐線不通となる
12年9月10日	水 害	台風による大雨で河川が氾濫し田畑が冠水し農作物に被害もたらす
14年8月14日	水 音	集中豪雨により家屋の浸水被害もたらす
16年7月22日	水 害	台風による大雨で駒ヶ嶺町地内で河川が氾濫、家屋の浸水被害、農作物に被害もたらす
18年10月2日	水 害	短時間に雨量200ミリ記録、田畑の冠水、家屋の浸水被害もたらす
23年9月15日	水 害	アイオン台風襲来、田畑が冠水し農作物に被害もたらす
24年9月1日	水 害	キティ台風襲来、低地の家屋に浸水被害もたらす

25年4月1日	水害	集中豪雨により駒ヶ嶺地区の農作物に被害もたらす
25年8月2日	水害	集中豪雨により駒ヶ嶺地区の農作物に被害もたらす
27年4月3日	高潮	高潮が押し寄せ当地方海岸線堤防決壊、今泉、今神地内の家屋が浸水、住民公会堂に避難
28年5月3日	霜害	当地方に霜が降り果樹等に被害もたらす（県内の被害額12億6千万円）
28年9月26日	水害	台風12号による大雨で家屋の浸水、農作物に被害もたらす
29年7月10日	水害	集中豪雨により農作物に大被害もたらす（相馬地方の田畑の冠水1,700ヘクタール）
29年9月17日	水害	台風14号による大雨で家屋の浸水被害
30年10月26日	水害	集中豪雨により当地方に大きな被害でる（雨量200ミリ）
32年3月9日	高潮	高潮が押しよせ今泉、今神地内の家屋が浸水、住民が公会堂に避難
32年5月4日	霜害	4日朝に霜が降り桑園、果樹等に被害もたらす
32年7月23日	水害	局地的な大雨となり低地の家屋に浸水被害もたらす
33年9月26日	水害	台風22号による大雨で各河川がすべて増水氾濫し大洪水となる、家屋の浸水、田畑の冠水、大戸浜地区に避難命令（雨量336ミリ、瞬間最大風速60m、平均風速20m）
34年8月8日	水害	集中豪雨により田畑が冠水し被害もたらす
34年9月24日	水害	伊勢湾台風襲来し当地方の各河川が増水氾濫し農作物等に大被害もたらす
35年5月24日	津波	チリ地震津波、当地方にも津波が押し寄せた、最大波高1.5メートル
36年6月28日	水害	台風6号による大雨により農作物に被害もたらす
37年7月14日	水害	集中豪雨により農作物に被害もたらす
39年6月16日	地震	新潟地震により家屋の一部倒壊、石塀の崩壊等被害もたらす （県内の被害額5億8千万円）
39年8月24日	水害	台風14号による大雨で河川が氾濫し低地の家屋に浸水被害もたらす
40年5月26日	水害	台風6号による大雨で農作物に被害もたらす
40年8月22日	水害	台風の影響で局地的に大雨となり農作物に被害もたらす（雨量95ミリ）
41年6月28日	水害	台風4号による大雨により農作物に被害もたらす
41年9月25日	水害	台風26号による大雨で各河川が増水氾濫し家屋の浸水、農作物に被害もたらす
42年5月14日	ひょう	当地方に降ひょうがあり農作物に被害もたらす（当地方の被害8千6百万円）
42年7月21日	水害	長雨と台風による大雨で田畑の冠水被害もたらす
42年9月8日	水害	台風の影響で大雨となり当地方に被害もたらす（雨量200ミリ）
42年10月27日	水害	台風34号による大雨により低地の家屋に浸水被害
43年5月16日	地震	十勝沖地震により県下全域に被害もたらす（震度 福島、小名浜4、県内損害額8千7百万円）
44年10月8日	水害	台風12号による大雨で各河川が増水氾濫し被害もたらす
45年1月30日	水害	暴風雨雪により家屋の一部倒壊等被害もたらす
45年5月6日	水害	長雨により堤防の決壊や土砂崩れ被害もたらす
45年11月19日	水害	3日間の大雨により被害もたらす（当地方の被害10億2千万円）
46年4月29日 ～5月10日	低温害	県下全域が平年より5～6℃低い気温が続き当地方農作物に大被害もたらす （県内の被害総額38億8千5百万円）
46年8月31日	水害	台風23号が当地方を通過大雨となり、堤防の決壊による家屋の浸水被害（雨量235ミリ）
47年8月7日	水害	台風13号による大雨で農作物に被害もたらす
47年9月16日	水害	台風20号による大雨で県内の農作物等に被害もたらす（県内の被害26億7千万円）
50年7月7日	水害	集中豪雨による大雨で県内全域に被害もたらす（県内の被害86億5千万円）

51年9月3日	水害	集中豪雨により農作物に被害もたらず
52年9月19日	水害	台風11号の大雨で河川が増水一部氾濫低地の家屋に浸水被害もたらず
53年6月12日	地震	宮城県沖地震により家屋の一部倒壊、駒ヶ嶺町で石塀崩壊2名負傷 (震度 福島5、小名浜4)
53年6月25日	水害	梅雨前線崩れによる大雨で農作物に被害
54年3月31日	強風	瞬間最大風速30メートル記録し、家屋の一部倒壊等被害もたらず
54年5月15日	水害	集中豪雨により農作物に被害もたらず
54年10月19日	水害	台風20号の大雨により河川が氾濫被害もたらず
55年12月24日	高潮	暴風雪高潮により家屋の浸水被害、船舶の転覆被害、今泉地区に避難命令 (瞬間最大風速35m)
56年8月22日	水害	台風15号による大雨で水稲511ヘクタール、タバコハウス23件に被害 (損害額1億5千万円)
56年10月22日	水害	台風24号による大雨で河川が増水氾濫し田畑の冠水により農作物に被害もたらず
57年4月15日	水害	集中豪雨により水稲育苗箱870箱に被害 (損害額34万円)
57年8月1日	水害	台風10号による大雨で野菜、果樹等に被害もたらず (損害額1千9百万円)
57年8月28日	水害	集中豪雨により家屋の浸水被害、農作物の被害 (町内の損害額9千5百万円)
57年9月12日	水害	台風18号による風雨により水稲、桑等187ヘクタールに被害もたらず (瞬間最大風速36m、雨量290ミリ、損害額4千万円)
58年8月22日	水害	台風15号による大雨で農作物等に被害もたらず
61年8月5日	水害	台風10号による大雨で家屋の浸水被害、橋の流失3箇所、水稲、野菜等392ヘクタール に被害もたらず (雨量308ミリ、損害額4億3千万円、床上浸水8戸、床下浸水30戸)
62年2月2日	雪害	積雪65cmの大雪となり、ビニールハウスの倒壊など被害をもたらず (損害額1億4千万円)
62年3月12日	風害	12日から13日にかけて大風がふきパイプハウス23件飛ばされる、また、野菜等に被害 (2百27万円)
62年4月7日	地震	23日まで当地方を襲った震度3～4の群発地震により住宅、学校などの窓ガラス割れ などの被害
63年7月～8月	冷害	異常低温が長く続き、水稲、野菜等に被害もたらず (損害額8億1千8百万円)
平成元年8月6日	水害	台風13号による大雨で、河川が氾濫し、家屋の浸水被害、農作物等に大被害
2年11月30日	水害	台風28号による大雨で、林道など土砂崩れ (グミノ木沢線275m、損害額3百60万円)
3年6月～7月	冷害	異常低温が長く続き水稲、野菜等95ヘクタールに被害もたらず (損害額1億5千万 円)
3年10月13日	水害	台風21号による大雨で、水稲18ヘクタールに被害もたらず (損害額3百70万円)
4年3月5日	雪害	当地方降雪22センチメートル。ビニールハウス等倒壊被害で (損害額2百91万円)
4年6月21日	水害	局地的な大雨により水稲64ヘクタールに被害もたらず (9千3百万円)
5年1月29日	暴風	暴風により簡易パイプハウスの全壊1棟194㎡ (春菊) 損害額278千円 暴風により簡易パイプハウスの半壊1棟225㎡ (にら) 損害額304千円 暴風により簡易パイプハウスのビニール破損4棟900㎡ (いちご、にら)
5年8月27日	水害	台風11号による大雨で家屋の浸水被害 (床下浸水1棟1世帯1人)
5年12月23日	暴風	台風13号による暴風により家屋破損など被害もたらず (住家一部破損1棟、非住家その他3棟)
6年8月20日	水害	大雨により家屋の浸水被害 (床下浸水1棟1世帯1人)

6年9月29日 ～30日	水 害	台風26号による家屋の浸水被害、停電など被害をもたらす (床下浸水1棟1世帯1人、非住家その他1棟) (停電 30日未明～釣師地区約140戸 30日9:30全面復旧)
7年8月16日	水 害	雷雨により家屋の浸水被害 (床下浸水2棟2世帯2人)
8年9月22日 ～23日	水 害	台風17号による大雨で家屋の浸水被害 (床下浸水1棟1世帯2人)
10年1月15日 ～17日	雪 害	積雪35cm (新地分署調) の大雪により、 ガラスハウスの全壊1棟 損害額3,323千円 パイプハウスの全壊16棟 損害額1,938千円 小・中学校休校
8月29日 ～31日	水 害	大雨により家屋の浸水被害 (床下浸水1棟1世帯1人) 公共施設損害額26,900千円 (林道13,000千円、町道3,000千円、農道400千円、河川 (県) 5,000千円、河川 (町) 300千円、排水路5,200千円)
9月15日 ～16日	暴 風	台風5号による暴風で農作物へ被害 損害額10,075千円 (りんご落果) 倒木により家屋の一部破損 (屋根破損1棟)
	水 害	林道 損害額2,000千円 小・中学校休校
11年10月27日 ～28日	水 害	大雨により住家4棟床下浸水、非住家3棟浸水
12年7月7日 通～8日	水 害	台風3号による大雨で、非住家3棟床下浸水、崖崩れによる通行止2箇所、片側交互 行1箇所
13年7月17日	水 害	落雷により、15:31～18:59の間に、1,180世帯で停電
14年7月10日 ～11日	水 害	台風6号による大雨で家屋の浸水被害 (床下浸水1件1棟)
15年7月～8月	冷 害	異常低温が長く続き水稻、野菜等に被害をもたらす (損害額2億809万円)
15年9月26日	津 波	十勝沖地震津波により、当地方で最大波高30cmを観測
16年10月9日 ～10日	水 害	台風22号による大雨で、林道大沢北線のり面崩落 (幅40m×高10m)
17年8月16日	地 震	宮城県沖を震源とする地震により、軽傷2名、家屋の一部破損257件、非住家 (寺・公会堂) の被害4件 (震度5.4)
18年9月27日	水 害	低気圧による大雨で、家屋の浸水被害 (床下:住家3棟、納屋5棟)、田畑・ため池 等に被害をもたらす
18年10月6日 ～8日	水 害	低気圧による大雨で、家屋の浸水被害 (床上:店舗2棟、床下:住家2棟、納屋4 棟)、田畑ため池等に被害をもたらす 駒ヶ嶺浜民地内269戸で停電 (6日19:45～7日2:39)
19年1月7日	暴 風	暴風により、町内全域停電 (20:14～20:45)、新地発電所1号機停止 (20:14～翌 7:35)、ニラハウス8棟、イチゴハウス1棟が被害
19年7月15日 ～16日	水 害	台風4号による大雨により、町道法面・路肩崩壊など3カ所
20年6月14日	地 震	岩手・宮城内陸地震により、家屋の一部破損1棟 (震度4.6)
20年8月21日	水 害	大雨により、家屋の浸水被害 (床下:住家4棟、納屋3棟)、農地等の法面崩壊
21年10月7日	水 害	台風18号による大雨により、家屋の浸水被害 (床下:住家2棟)、農地等の法面崩壊



～ 8日

22年 2月28日	津 波	チリ中部沿岸で発生した地震の影響により、福島県沿岸に津波警報が発令され、沿岸地域414世帯1,501人に避難指示、船舶1隻が浸水
23年 3月11日	地 震 津 波	東北地方太平洋沖地震発生（マグニチュード9.0、震度6強） 相馬駿潮場で9.3m以上の津波を観測 ＜人的被害＞死者数119人（直接死100名、死亡届10人、関連死9名） ＜住宅被害＞全壊 474世帯（津波467、地震7） 大規模半壊 45世帯（津波30、地震15） 半壊 111世帯（津波19、地震92） 一部破損 636世帯
23年 9月20日 ～22日	水 害	台風15号による大雨により、家屋の浸水被害（床下：住家4棟）、道路冠水や土砂流出などの被害
26年10月 5日 ～ 6日	水 害	台風18号による大雨により、町道の冠水、町内2カ所で倒木あり
26年10月13日 ～14日	水 害	台風19号による大雨により、駒ヶ嶺紙衣沢地内で土砂崩れ、町道の冠水被害
27年 9月 9日 ～10日	水 害	台風17号・18号による大雨により、町道の冠水や土砂崩れ被害
28年 8月17日	水 害	台風7号による大雨により、町道の冠水被害
28年 8月29日	水 害	台風10号による大雨により、町道の冠水被害
28年11月22日	地 震	福島県沖地震（マグニチュード7.4、震度5弱）
29年10月22日 ～23日	水 害	台風21号による大雨により、家屋の浸水被害（床下：住家2棟）、町道の冠水
令和元年10月12日 ～25日	水 害	台風19号・21号による大雨により、町内全域において断水 ＜住宅被害＞床上浸水 2世帯 床下浸水 1世帯 一部破損 7世帯
3年 2月13日	地 震	福島県沖地震発生（マグニチュード7.3、震度6強） ＜人的被害＞負傷者 3人 ＜住宅被害＞全壊 22世帯 大規模半壊 12世帯 中規模半壊 30世帯 半壊 114世帯 準半壊 977世帯 一部破損 336世帯

※令和3年9月1日現在

資料

重要水防区域調書

水系名	河川 海岸名	水防 (消防) 分団名	重要水防区域						予想 される危 険概 要	対策 水防 工法	氾濫 面積 (ha)	概要  人家(戸) 田畑(ha)	
			左 岸 右 岸 の 別	位置		評定基準		堤防 (m)					
				大字	字	種別	基準 区分						
三滝川	埴川	第3分団	左岸	埴木崎		堤防高	B	1,500	溢水	土のう積	36	人家 田畑	18 34
	三滝川	第3分団	右岸	埴木崎 福田		堤防高	B	1,000	溢水	土のう積	65	人家 田畑	30 60
砂子田川	砂子田川	第2分団	両岸	谷地小屋	栴形 中島	堤防高	B	500	溢水	土のう積	65	人家 田畑	228 48
濁川	濁川	第2分団	両岸	谷地小屋 大戸浜	浜畑 浜北	堤防高	B	2,300	溢水	土のう積	2	人家 田畑	64
地藏川	立田川	第1分団	両岸	駒ヶ嶺	新町 町	堤防 断面	A	2,400	溢水	土のう積	15	人家 田畑	75 4
新地海岸	木崎地区海岸	第3分団	—	埴木崎	磯浜 埴浜	堤防高 堰崩面	A	1,260	越波	土のう積	60	人家 田畑	46

資料：福島県水防計画

資料

急傾斜地崩壊危険箇所調書（自然斜面）

箇所名	位置			予想される災害現象	予想被害区域	過去10年間発生回数	保全対象地区の現況				予定避難場所			
	大字	字	延長				世帯数	人口	公共建設種類・数	公共施設種類・数	名称	電話	収容人員	
舘前	谷地小屋	舘前	m		ha									
飯樋	杉目	飯樋												
大沢北	駒ヶ嶺	大沢北												
鴻ノ巣	駒ヶ嶺	鴻ノ巣												
新林	駒ヶ嶺	新林												

資料

土石流危険溪流調書

水系名	河川名	溪流名	位置			予想される災害現象	予想被害区域	過去10年間発生回数	保全対象地区の現況				予定避難場所			
			大字	字	延長				世帯数	人口	公共建物種類・数	公共施設種類・数	名称	電話	収容人員	
地藏川	立田川	菅谷	駒ヶ嶺	山屋敷												
地藏川	立田川	大沢北	駒ヶ嶺	大沢北												
砂子田川	砂子田川	飯樋	杉目	鈴山												
砂子田川	砂子田川	いぼ石沢	杉目	飯樋												
三滝川	三滝川	沢口	福田	瀬上												
三滝川	三滝川	三滝川	福田	沢口												
砂子田川	砂子田川	上真弓	真弓	原畑												

資料

山腹崩壊危険地区調書

箇所番号	箇所名	位置			保全対象地区の現況		
		大字	字	面積 ha	世帯数	公共施設数	道路種類
1001	一ツ滝	福田	一ツ滝	6.0	3		町道
1002	館前	谷地小屋	館前	2.0	2		町道
1003	飯樋	杉目	飯樋	2.0	1		町道
1004	鴻ノ巣	駒ヶ嶺	鴻ノ巣	5.0	3		町道
1005	川向	小川	川向	3.0		3	
1006	白子下	駒ヶ嶺	白子下	1.0	2		町道

## 資料

## 崩壊土砂流出危険地区調書

箇所 番号	箇所名	位置			保全対象地区の現況		
		大字	字	面積 h a	世帯数	公共施設数	道路種類
2001	一ツ滝	福田	一ツ滝	3.07	23		県道
2002	原畑	真弓	原畑	1.69	25		町道
2003	南狼沢	谷地小屋	南狼沢	3.36			町道
2004	鈴山1	杉目	鈴山	0.68			町道
2005	鈴山2	杉目	鈴山	1.04			町道
2006	飯樋	杉目	飯樋	0.50	9		町道
2007	赤紫	—	赤紫	0.45			県道
2008	〃	—	赤柴	2.02	1		県道
2009	大沢北	駒ヶ嶺	大沢北	5.19	16		国道
2010	南菅谷2	—	南菅谷	0.19			林道
2011	南菅谷	—	南菅谷	1.56			林道
2012	原畑	真弓	原畑	0.90	8		町道
2013	一ツ滝	福田	一ツ滝	0.90	17		県道

## 資料

## 砂防指定地

水系	溪流	所在地 (大字)	所在地 (字)	告示年月日
砂子田川	谷地田川	谷地小屋	南狼沢	昭23/04/15
三滝川	三滝川	福田	一ツ滝	昭38/09/14
三滝川	三滝川	福田	大町	昭51/04/27
立田川	立田川		白子下	昭26/10/13
立田川	立田川		白子下	昭26/10/13

## 資料

## 海岸保全区域（農林水産省関係）

海岸名	地区海岸名	海岸保全区域の延長 (m)
釣師浜漁港海岸	埴浜地区海岸	651
〃	谷地小屋地区海岸	1,276
〃	大戸浜地区海岸	310
〃	大戸浜・今泉地区海岸	2,034

## 資料

## 自主防災会及び女性消防隊

## ○自主防災会

(令和3年4月現在)

名 称	地 区	地域の世帯数	結成年月日
第1行政区自主防災会	沢口・大山田・鉄炮町	89	平成15. 2. 13
第2行政区自主防災会	明地・中里	131	平成14. 11. 1
第3行政区自主防災会	木崎・埴浜・作田	163	平成14. 10. 7
第4行政区自主防災会	上真弓・下真弓	89	平成14. 7. 1
第5行政区自主防災会	岡	145	平成14. 3. 4
第6行政区自主防災会	杉 目	123	平成14. 9. 1
第7行政区(新地町地区)自主防災会	新地町	215	平成14. 5. 17
第7行政区(中島地区)自主防災会	中 島	99	平成14. 5. 19
第8行政区自主防災会	小 川	257	平成14. 6. 5
第10行政区自主防災会	大戸浜	145	平成14. 11. 1
第11行政区自主防災会	今 泉	65	平成14. 5. 25
第12行政区自主防災会	高田・菅谷	167	平成14. 8. 1
第13行政区自主防災会	城内・上町・駒町	193	平成14. 11. 1
第14行政区自主防災会	今神・藤崎・渋民	166	平成14. 3. 5
第15行政区自主防災会	富倉・原相善	130	平成14. 4. 23

## ○女性消防隊

(令和3年4月現在)

組織数	隊員数	活動範囲とする地域の世帯数	組織率
1	2,891		100%

## 資料

## 消防団員等の現有勢力調

## (1) 消防団

(令和3年4月1日現在)

分団名	団員数	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ	広報車
本 部	25	0	0	2	1
第1分団	80	2	5	0	0
第2分団	112	3	4	0	0
第3分団	73	2	3	0	0
計	290	7	12	2	1

## (2) 広域消防

(令和3年4月1日現在)

	職員数	水槽付消防 ポンプ自動車	消防ポンプ 自 動 車	指 揮 車 兼 広 報 車	救 急 車
新地分署	13		1	1	1

## 資料

休日及び勤務時間外の気象通報連絡表

通報の区分	通報先			種類
	課名	順位	職	
(ア) 雨等に関するもの	総務課	1	課長	
(イ) (ア) 以外に関するもの		2	総務係長	
(ウ) 火災気象通報に関するもの		3	総務係員	

## 資料

指定避難場所の所在地及び収容人員等

(令和3年4月1日現在)

区分	対象施設	所在地	収容面積	収容人員
津波 緊急 避難場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>聖ヨハネ教会跡地</li> <li>大戸浜緑地広場</li> <li>今泉墓地広場</li> </ul>	埴木崎字磯山 大戸浜字宮田 23 今泉字浜畑		
一時 避難 場所	福田地区 <ul style="list-style-type: none"> <li>福田小学校校庭</li> <li>作田コミュニティセンター駐車場</li> <li>木崎公会堂</li> </ul>	福田字中里 16 埴木崎字作田 38 埴木崎字木崎 486		
	新地地区 <ul style="list-style-type: none"> <li>新地小学校校庭</li> <li>尚英中学校校庭</li> <li>総合体育館駐車場</li> <li>防災センター</li> <li>文化交流センター</li> <li>農村環境改善センター駐車場</li> <li>大戸浜緑地広場</li> <li>今泉墓地広場</li> </ul>	谷地小屋字愛宕 1 谷地小屋字愛宕 38 小川字川向 9-1 谷地小屋字中島一丁目 1 駅前一丁目 3 谷地小屋字樋掛田 40-1 大戸浜字宮田 23 今泉字浜畑		
	駒ヶ嶺地区 <ul style="list-style-type: none"> <li>駒ヶ嶺小学校校庭</li> <li>駒ヶ嶺公民館駐車場</li> <li>富倉防災コミュニティセンター駐車場</li> <li>旧駒ヶ嶺小学校跡地</li> <li>相馬地域開発記念緑地</li> </ul>	駒ヶ嶺字新町前 52 駒ヶ嶺字新町 11 駒ヶ嶺字狐塚 125 駒ヶ嶺字新林 20 駒ヶ嶺字西久保		
避難所	福田地区 <ul style="list-style-type: none"> <li>福田小学校体育館 (62-2303)</li> <li>作田コミュニティセンター</li> </ul>	福田字中里 16 埴木崎字作田 38	495 m <sup>2</sup> 68 m <sup>2</sup>	300 人 80 人
	新地地区 <ul style="list-style-type: none"> <li>新地小学校体育館 (62-2006)</li> <li>尚英中学校体育館 (62-2052)</li> <li>総合体育館 (63-2200)</li> <li>大戸浜防災コミュニティセンター</li> </ul>	谷地小屋字愛宕 1 谷地小屋字愛宕 38 小川字川向 9-1 大戸浜字宮田 23	1,303 m <sup>2</sup> 1,326 m <sup>2</sup> 1,428 m <sup>2</sup> 84 m <sup>2</sup>	780 人 800 人 860 人 100 人
	駒ヶ嶺地区 <ul style="list-style-type: none"> <li>駒ヶ嶺小学校体育館 (62-3007)</li> <li>駒ヶ嶺公民館 (62-3477)</li> <li>富倉防災コミュニティセンター</li> </ul>	駒ヶ嶺字新町前 52 駒ヶ嶺字新町前 (令和3年度完成予定) 駒ヶ嶺字狐塚 125	720 m <sup>2</sup> 430 m <sup>2</sup> 96 m <sup>2</sup>	430 人 260 人 110 人
福祉 避難所	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別養護老人ホーム新地ホーム (62-5111)</li> <li>特別養護老人ホームなごみの里福田 (26-4550)</li> </ul>	小川字川向 18 福田字清水 175	110 m <sup>2</sup> 110 m <sup>2</sup>	30 人 30 人

資料

町内ガソリン給油所一覧表

(令和3年4月1日現在)

名 称	所 在 地	電 話
(有) 穴 戸 商 店	谷地小屋字樋掛田66	62-2004
(株) マックスサービスそうま新地給油所	谷地小屋字駒込502	62-4339
(有) 光 栄 商 会	駒ヶ嶺字町55-1	62-3063

資料

町内米穀販売業者一覧表

(令和3年4月1日現在)

名 称	住 所	電話番号	備 考
後 藤 商 店	谷地小屋字萩崎4	62-2005	
J Aそうま新地総合支店	谷地小屋字樋掛田64	62-2121	

## 「災害救助法による救助の程度、方法及び期間」早見表

基 準	単 価																																																																												
避難所	避難所設置等 1人1日当たり 330円以内 高齢者等の要援護者等を収容する「福祉避難所」を設置した場合、当該地域における通常の実費を支出でき、上記を超える額を加算できる。																																																																												
応急仮設住宅	1戸当たり平均 5,714,000円以内																																																																												
食料給与基準	1人1日1,160円以内とし、炊き出しその他食料品の給与 救助期間は7日以内																																																																												
被服、寝具その他生活必需品の給与	<p>(1) 住家の全壊、全焼又は流失により被害を受けた世帯 (単位 円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>季 別</th> <th>世帯区</th> <th>1人 世帯</th> <th>2人 世帯</th> <th>3人 世帯</th> <th>4人 世帯</th> <th>5人 世帯</th> <th>6人以上1人を増すごと に加算する額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">夏期</td> <td>4月から</td> <td>18,800</td> <td>24,200</td> <td>35,800</td> <td>42,800</td> <td>54,200</td> <td>7,900</td> </tr> <tr> <td>9月まで</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冬期</td> <td>10月から</td> <td>31,200</td> <td>40,400</td> <td>56,200</td> <td>65,700</td> <td>82,700</td> <td>11,400</td> </tr> <tr> <td>3月まで</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 住家の半壊、半焼又は床上浸水により被害を受けた世帯 (単位 円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>季 別</th> <th>世帯区</th> <th>1人 世帯</th> <th>2人 世帯</th> <th>3人 世帯</th> <th>4人 世帯</th> <th>5人 世帯</th> <th>6人以上1人を増すごと に加算する額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">夏期</td> <td>4月から</td> <td>6,100</td> <td>8,300</td> <td>12,400</td> <td>15,100</td> <td>19,000</td> <td>2,600</td> </tr> <tr> <td>9月まで</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冬期</td> <td>10月から</td> <td>10,000</td> <td>13,000</td> <td>18,400</td> <td>21,900</td> <td>27,600</td> <td>3,600</td> </tr> <tr> <td>3月まで</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> </tbody> </table>	季 別	世帯区	1人 世帯	2人 世帯	3人 世帯	4人 世帯	5人 世帯	6人以上1人を増すごと に加算する額	夏期	4月から	18,800	24,200	35,800	42,800	54,200	7,900	9月まで	円	円	円	円	円	円	冬期	10月から	31,200	40,400	56,200	65,700	82,700	11,400	3月まで	円	円	円	円	円	円	季 別	世帯区	1人 世帯	2人 世帯	3人 世帯	4人 世帯	5人 世帯	6人以上1人を増すごと に加算する額	夏期	4月から	6,100	8,300	12,400	15,100	19,000	2,600	9月まで	円	円	円	円	円	円	冬期	10月から	10,000	13,000	18,400	21,900	27,600	3,600	3月まで	円	円	円	円	円	円
季 別	世帯区	1人 世帯	2人 世帯	3人 世帯	4人 世帯	5人 世帯	6人以上1人を増すごと に加算する額																																																																						
夏期	4月から	18,800	24,200	35,800	42,800	54,200	7,900																																																																						
	9月まで	円	円	円	円	円	円																																																																						
冬期	10月から	31,200	40,400	56,200	65,700	82,700	11,400																																																																						
	3月まで	円	円	円	円	円	円																																																																						
季 別	世帯区	1人 世帯	2人 世帯	3人 世帯	4人 世帯	5人 世帯	6人以上1人を増すごと に加算する額																																																																						
夏期	4月から	6,100	8,300	12,400	15,100	19,000	2,600																																																																						
	9月まで	円	円	円	円	円	円																																																																						
冬期	10月から	10,000	13,000	18,400	21,900	27,600	3,600																																																																						
	3月まで	円	円	円	円	円	円																																																																						
被災した住宅の応急修理	大規模半壊、中規模半壊又は半壊若しくは半焼の被害を受けた世帯 1世帯当たり595,000円以内 半壊又は半焼に準ずる程度の損傷により被害を受けた世帯 1世帯当たり300,000円以内																																																																												
学用品の給与	文房具及び通学用品費 小学生児童 1人当たり 4,500円 中学校生徒 1人当たり 4,800円 高等学校等生徒 1人当たり 5,200円																																																																												
埋葬	一体当たり 1人 大人(12歳以上) 215,200円 小人(12歳未満) 172,000円																																																																												
遺体搜索	当該地域における通常の実費																																																																												



遺体処理	(1) 遺体の洗浄、縫合、消毒等の処理のための費用は、一体当たり3,500円以内とする。 (2) 遺体の一時保存のための費用は、遺体を一時収容するために既存の建物を利用する場合は当該施設の借上費について通常の実費とし、既存の建物を利用できない場合は一体当たり5,400円以内とする。
障害物の除去	1世帯当たり137,900円以内

資料

医療機関及び医薬品調達先一覧表

(令和3年4月1日現在)

医 院 名	所 在 地	電話番号	診 療 科 目	病床数
公立相馬総合病院	相馬市新沼字坪ヶ迫142	36-5101	外・内・整形外・小児・泌尿器・産婦人・他	198床
菅野医院	谷地小屋字萩崎61-1	63-2388	外・内・整形外・婦人・リハビリ	
渡辺病院	駒ヶ嶺字原92	63-2100	外・内・整形外・消化器内・心臓血管外 他	140床
新地クリニック	駅前2丁目10	63-2700	内科・精神科	
新地歯科医院	小川字北原121-1	62-4436	歯科	
クオール薬局新地町店	駒ヶ嶺原93-1	63-2089		

資料

医薬品販売店

(令和3年4月1日現在)

商 店 名	住 所	電話番号	備 考
太 田 薬 品	谷地小屋字新地27	62-3586	
薬 王 堂	谷地小屋字中田35-1	32-1931	

資料

消毒方法薬剤所要量の算出方法

区 分	薬剤の種類	薬 剤 量 算 出 方 法
床 上 浸 水 家 屋 (全壊、半壊、流失を含む)	ク レ ゾ ー ル	床上浸水戸数×200 g
	石 灰	床上浸水戸数×6 kg
床 下 浸 水 家 屋	クロールカルキ	井戸の数(概数)×200 g
	ク レ ゾ ー ル	床下浸水戸数×50 g
	石 灰	床下浸水戸数×6 kg
	クロールカルキ	井戸の数(概数)×200 g

資料

ごみ処理、し尿処理施設一覧

(1) 市町村ごみ処理施設

(令和3年4月1日現在)

事 業 主 体	所 在 地	規 模	処 理 方 式	稼 動 開 始 年
相馬方部衛生組合	相馬市光陽三丁目2番17	43 t/日	ストーカ式(可動)	平成24年
新地町一般廃棄物最終処分場	福田字北原154-4	3 t/日	セル式 サンドイッチ工法	平成6年

## (2) 市町村し尿処理施設

(令和3年4月1日現在)

事業主体	所在地	処理方法	能力 k1/日	稼動開始年
相馬方部衛生組合	相馬市光陽4丁目2番1	標準脱窒素処理方式	48	平成13年

## 資料

## 新地町の指定文化財

番号	文化財名	所在地	種別
1	磯山古墳群	大字埴木崎字磯山	古墳
2	木崎古墳A	大字埴木崎字木崎	古墳
3	木崎古墳B	大字埴木崎字木崎	古墳
4	木崎横穴古墳	大字埴木崎字木崎	古墳
5	木崎	大字埴木崎字木崎	散布地
6	後作窪後	大字埴木崎字後作	窯跡
7	朴木原	大字福田字朴木原	散布地
8	新田	大字福田字新田	
9	桜壇古墳群	大字埴木崎字作田	古墳
10	熊野	大字福田字熊野	散布地
11	熊野古墳群	大字福田字熊野	古墳
12	新地城(葦首城)	谷地小屋字館前	城館跡
13	福田古館	大字福田字諏訪	城館跡
14	薬師	大字真弓字薬師	散布地
15	五社壇	大字真弓字原畑	その他
16	谷地小屋要害	谷地小屋字古屋敷	城館跡
17	上ノ台古墳群	谷地小屋字上ノ台	古墳
18	北狼沢古墳群	谷地小屋字北狼沢	古墳
19	雀塚古墳	杉目字雀塚	古墳
20	川窪	杉目字川窪	散布地
21	畑中	杉日字畑中	散布地
22	杉日東館跡	杉日字中丁	城館跡
23	杉目西館跡	杉日字中丁	城館跡
24	山海道	小川字山海道	散布地
25	新地貝塚	小川字貝塚西	貝塚
26	雁小屋堅穴群	杉日字雁小屋	散布地
27	ソリ畑	駒ヶ嶺字ソリ畑	散布地
28	富穴前古墳	駒ヶ嶺字富穴前	古墳
29	小川堅穴群	小川字所沢	散布地

30	原 製 鉄	駒ヶ嶺字原	製 鉄 跡
31	大戸浜横穴古墳群	大戸浜字南中磯塩入	古 墳
32	金 子 坂	駒ヶ嶺字金子坂	製 鉄 跡
33	駒ヶ嶺城 (臥牛城)	駒ヶ嶺字館	城 館 跡
34	五 百 山	駒ヶ嶺字相善東	散 布 地
35	藤 崎 横 穴 古 墳	駒ヶ嶺字藤見	古 墳
36	高 田	駒ヶ嶺字白澤他	散 布 地
37	三 貫 地	駒ヶ嶺字三貫地西	散 布 地
38	三 貴 地 貝 塚	駒ヶ嶺字田丁場	貝 塚
39	狐 作	駒ヶ嶺字狐作	散 布 地
40	中 丸 東	駒ヶ嶺字中丸東	散 布 地
41	境 A	駒ヶ嶺字境	散 布 地
42	境 B	駒ヶ嶺字境	散 布 地
43	南 川 尻 A	駒ヶ嶺字南川尻	散 布 地
44	南 川 尻 B	駒ヶ嶺字南川尻	製 塩 跡
45	唐 崎 釜 屋 群	今泉字唐崎	
46	鹿 野 塩 盤	今泉字鹿野	
47	武 井 A	今泉字武井	散 布 地
48	武 井 B	今泉字武井	製 鉄 跡
49	武 井 C	今泉字武井	散 布 地
50	武 井 D	今泉字武井及び駒ヶ嶺字向田	散 布 地
51	武 井 E	今泉字武井	散 布 地
52	師 山	駒ヶ嶺字師山	散 布 地
53	南 川 添 A	駒ヶ嶺字南川添	散 布 地
54	南 川 添 B	駒ヶ嶺字南川添	散 布 地
55	南 川 添 C	駒ヶ嶺字南川添	散 布 地
56	今 神	駒ヶ嶺字今神	散 布 地
57	双 子 横 穴 群	駒ヶ嶺字今神	墳 墓
58	権 現 壇	駒ヶ嶺字権現壇	散 布 地
59	須 賀 畑	今泉字須賀畑	散 布 地
60	鹿 野 横 穴 墓 群	今泉字鹿野	墳 基
61	西 田	今泉字西田	
62	向 田 A	駒ヶ嶺字向田	散 布 地
63	向 田 B	駒ヶ嶺字向田	散 布 地
64	向 田 C	駒ヶ嶺字向田	散 布 地
65	向 田 D	駒ヶ嶺字向田	製 鉄 跡
66	向 田 E	駒ヶ嶺字向田	製 鉄 跡 散 布 地
67	向 田 F	駒ヶ嶺字向田	製 鉄 跡
68	向 田 塚	駒ヶ嶺字向田	塚
69	洞 山 A	駒ヶ嶺字洞山	散 布 地

70	洞 山 B	駒ヶ嶺字洞山	散 布 地
71	洞 山 C	駒ヶ嶺字洞山	散 布 地
72	洞 山 D	駒ヶ嶺字洞山	製 鉄 跡
73	洞 山 E	駒ヶ嶺字洞山	製 鉄 跡
74	洞 山 F	駒ヶ嶺字洞山	製 鉄 跡
75	十 二 所 A	駒ヶ嶺字十二所	
76	十 二 所 B	駒ヶ嶺字十二所	散 布 地
77	境 付	駒ヶ嶺字境付	散 布 地
78	原 田	駒ヶ嶺字原田	散 布 地
79	山 居 A	福田字山居	製 鉄 跡
80	山 居 B	福田字山居	製 鉄 跡
81	小 山 田	福田字小山田	製 鉄 跡
82	沢 入	福田字沢入	製 鉄 跡
83	別 所	福田字別所及び真弓字水神	散 布 地
84	水 神	真弓字水神及び真弓字広畑	散 布 地
85	川 原 A	谷地小屋字川原	製 鉄 跡
86	川 原 B	谷地小屋字川原	散 布 地
87	大 清 水	谷地小屋字大清水	散 布 地
88	北 狼 沢	谷地小屋字北狼沢・南狼沢	散 布 地
89	菅ノ沢二横穴	谷地小屋字菅ノ沢二	横 穴
90	閨 崎	谷地小屋字閨崎・菅ノ沢一・菅ノ沢二	散 布 地
91	五 郎 四 郎 A	谷地小屋字五四郎・杉日字五郎四郎	散 布 地
92	五 郎 四 郎 B	杉日字五郎四郎	製 鉄 跡
93	鹿 狼	駒ヶ嶺字鹿狼	散 布 地
94	赤 柴 前	駒ヶ嶺字赤柴前・鴻ノ巣・大沢北	散 布 地
95	白 子 下 A	駒ヶ嶺字白子下・山屋敷	製 鉄 跡
96	白 子 下 B	駒ヶ嶺字白子下	散 布 地
97	白 子 下 C	駒ヶ嶺字白子下・猪コロバシ	土 杭 群
98	新 林 塚	駒ヶ嶺字新林	塚
99	北 向 屋 敷	駒ヶ嶺字北向屋敷	散 布 地
100	山 中	駒ヶ嶺字山中	散 布 地
101	山 中 B	駒ヶ嶺字山中	散 布 地
102	山 中 塚	駒ヶ嶺字山中	塚
103	観 海 堂	谷地小屋字榊形	
104	子 眉 嶺 神 社	駒ヶ嶺字大作	
105	今 泉 薬 師 堂	今泉字浜畑	
106	福 田 十 二 神 楽	福田	
107	埴 浜 神 楽	埴浜	
108	杉 目 神 楽	杉目	
109	釣 師 神 楽	釣師	

110	今 泉 神 楽	今泉	
111	高 田 神 楽	駒ヶ嶺高田	
112	駒 ヶ 嶺 町 神 楽	駒ヶ嶺町	
113	奉 納 和 算 額	杉目大槻神社	
114	駒 ヶ 嶺 検 地 帳	町教育委員会	
115	大 般 若 経	駒ヶ嶺藤崎	

平成8年度福島県地震・津波被害想定調査

県が3か年で実施した、平成8年度福島県地震・津波被害想定調査結果は以下のとおり。

1 想定地震の設定

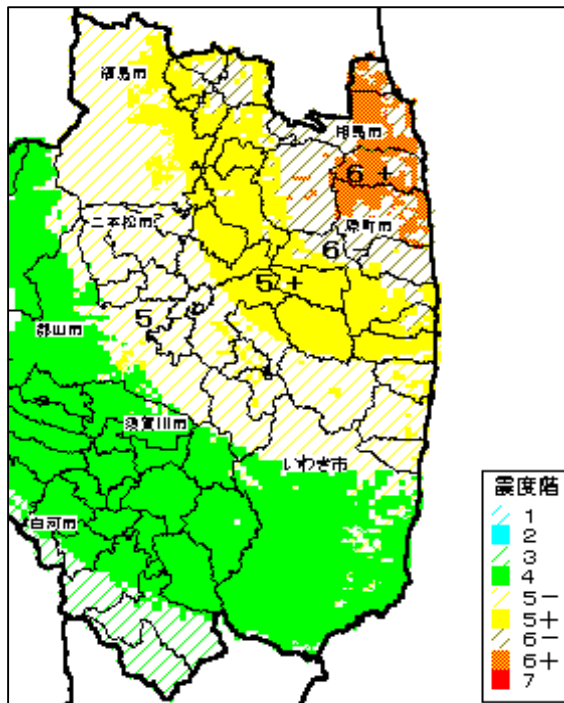
【想定地震の概要】

地震名		マグニチュード	震源深さ等
内 陸 部	福島盆地西縁断層帯地震	M7.0	震源深さ 10 km、長さ 20 km、幅 5 km
	会津盆地西縁断層帯地震	M7.0	震源深さ 10 km、長さ 20 km、幅 5 km
	双葉断層帯地震	M7.0	震源深さ 10 km、長さ 20 km、幅 5 km
海 溝 部	福島県沖地震	M7.7	震源深さ浅部 20 km、東西幅 60 km、 南北長さ 100 km

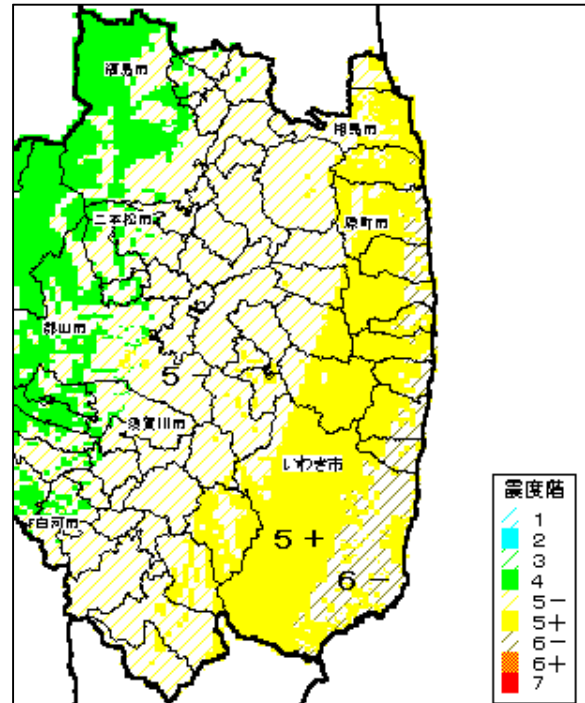
内陸部の地震は、起震断層としての活断層の存在が認められており、周辺地域の人口規模等、地震発生による社会的な影響が大きいと判断される地震として、3つの地震を選定している。

海洋部の地震は、過去に100年から200年程度の周期間隔で繰り返し同じ場所で数回の地震発生が認められているため、1938年の福島県東方沖の地震をモデルとして想定地震を設定している。

【双葉断層帯地震の震度分布図】



【福島県沖地震の震度分布図】



## 2 定量被害想定結果の概要

内陸部の想定3地震のうち、本町に最も影響が大きい双葉断層地震による被害、及び津波被害が想定される福島県沖地震による被害の結果概要について記載する。

### (1) 双葉断層地震による被害

福島県浜通り地方北部を震源とする双葉断層地震では、最大震度6強の強い地震動を伴い新地町、相馬市、南相馬市、飯舘村など阿武隈山地と太平洋に挟まれた低地一帯にわたって被害が集中的に発生するものと想定される。この地震による死者は最大で550名を超え、建物の大破・倒壊棟数は概ね8,000棟にも及ぶものと想定される。

さらに、浜通り地方中部の大熊町、双葉町、富岡町、楡葉町沿岸部に立地する原子力発電所（東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所）については、事故により全号機の運転が停止された。福島第一原子力発電所1～4号機では事故の完全収束及び廃炉に向けての取組が続けられており、事故後の原子炉建屋については、東京電力ホールディングス(株)と国において耐震性が確認されているものの、原子炉等の冷却は仮設設備であることから、再び地震等により機能を失った場合に備えて予備設備等も準備されている。福島第一原子力発電5・6号機及び福島第二原子力発電1～4号機では冷温停止が維持されている。しかし、仮に地震等によって予備設備等を含めて全ての冷却機能が失われ核燃料が高温となった場合には、放射性物質の放出等が想定される。

### (2) 福島県沖地震による被害

福島県沖では、過去に100～200年程度の周期でマグニチュード7前後の地震が同一の場所で数回繰り返して発生しており、津波を伴う場合もある。

福島県沖地震では、いわき市から南相馬市に至る沿岸部の広い範囲で最大震度6弱の大きな揺れが発生するものと予想され、最大で350名近くにも及ぶ死者と1,600名を上回る負傷者を始め、5,000棟にも及び建物の大破・倒壊といった被害が想定されている。このように福島県沖地震では、他の3つの想定地震のような内陸型の地震と比較して、地震動により局地的にもたらされる激甚な被害が少ないものの、被害の範囲が広範にわたるといった特徴がみられる。

また、福島県沖地震による津波では、地震発生後20分から40分程度でいわき市沿岸部に津波第一波が到達するほか、富岡町仏浜を中心とする地域で最大6.1mにも及ぶ津波水位が想定されているが、概ね津波高が現状における海岸保全施設の天端高を下回っており、陸域への越流がほとんどみられない状況となっている。

しかし、海岸地形や海底地形などの特性により実際の津波高が想定地震による津波高を上回る可能性があるほか、想定される津波高を越える地震津波が発生する可能性も考えられる。また、地震動や液状化により海岸保全施設の構造物自体が被災し、施設が持つ本来の機能が損なわれる可能性もあるため、津波対策のより一層の充実強化に努めることが重要である。

また、いわき市、広野町に形成されている石油コンビナート等では、地震による被災により大量の危険物が漏洩した場合は、海水を介して危険物が広範囲に拡散しやすく、大規模な火災や爆発に発展するおそれがある。さらに、津波来襲地には、浸水域の拡大や津波の河川遡上等を通じて、内陸の市街地にも被害が及ぶ可能性もある。

なお、東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所においては、東日本大震災と同程度の津波高さに対応する仮設防波堤を設置しており、これを越える津波により仮に設備に被害が生じた場合に備えて予備設備等も準備されている。しかし、仮に津波等によって予備設備等を含めて全

ての冷却機能が失われ核燃料が高温となった場合には、放射性物質の放出等が想定される。

資料

平成19年度福島県津波想定調査

県は、平成18年度から平成19年度にかけて、津波想定調査を実施。市町の津波ハザードマップや津波避難計画の作成支援を目的に、津波浸水想定区域図を作成し、津波による被害想定を実施した。

津波シミュレーションでは、国の中央防災会議が防災対策の検討対象として選定した「宮城県沖の地震津波」と「明治三陸タイプの地震津波」のほか、福島県に震源が最も近い「福島県沖高角断層地震津波」の3つの津波を想定し、それぞれの津波ごとに影響開始時間や第一波ピークの津波到達時間、最大遡上高等を予測した。

【人的被害（死亡者数）】

（単位：人）

市町名	人口	宮城県沖の地震津波 (避難率68%)		明治三陸タイプ地震津波 (避難率49%)		福島県沖高角断層地震津波 (避難率68%)	
		夏期昼間	冬季夜間	夏期昼間	冬季夜間	夏期昼間	冬季夜間
新地町	8,584	9 (6)	5	13 (8)	8	1 (1)	1
相馬市	38,630	26 (21)	5	35 (26)	10	1 (0)	1
南相馬市	72,837	39 (37)	1	36 (33)	5	29 (28)	1
浪江町	21,615	2 (0)	3	8 (0)	12	8 (0)	13
双葉町	7,170	14 (14)	0	27 (27)	0	24 (24)	0
大熊町	10,992	0 (0)	0	0 (0)	0	0 (0)	0
富岡町	15,910	2 (0)	2	11 (0)	12	4 (0)	5
檜葉町	8,188	6 (4)	1	24 (16)	6	14 (11)	3
広野町	5,533	1 (0)	0	17 (0)	4	1 (0)	0
いわき市	354,492	174 (144)	31	295 (215)	84	34 (24)	11
合計	543,951	273 (226)	48	466 (325)	141	116 (88)	35

※ ( ) 内は海水浴客

【建物被害】

（単位：棟）

市町名	建物棟数	宮城県沖の地震津波				明治三陸タイプ地震津波				福島県沖高角断層地震津波			
		全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水
新地町	7,544	109	136	136	203	179	220	393	298	0	56	69	80
相馬市	28,848	28	215	324	581	156	268	582	625	0	58	244	439
南相馬市	61,429	20	45	59	320	67	201	524	414	25	32	85	183
浪江町	14,358	0	186	261	162	178	320	232	109	212	324	199	134
双葉町	5,798	0	2	3	3	2	5	14	17	3	8	16	7
大熊町	7,718	2	4	3	0	6	2	6	2	6	4	6	3
富岡町	8,981	31	39	34	4	156	130	121	70	88	28	47	33
檜葉町	5,399	29	47	17	27	105	86	147	35	61	34	24	50
広野町	4,031	4	11	15	5	73	79	105	87	4	13	9	9
いわき市	201,155	114	1,034	1,274	1,481	1,348	1,353	1,614	1,347	0	425	791	974
合計	345,261	337	1,719	2,126	2,786	2,270	2,664	3,738	3,004	399	982	1,490	1,912

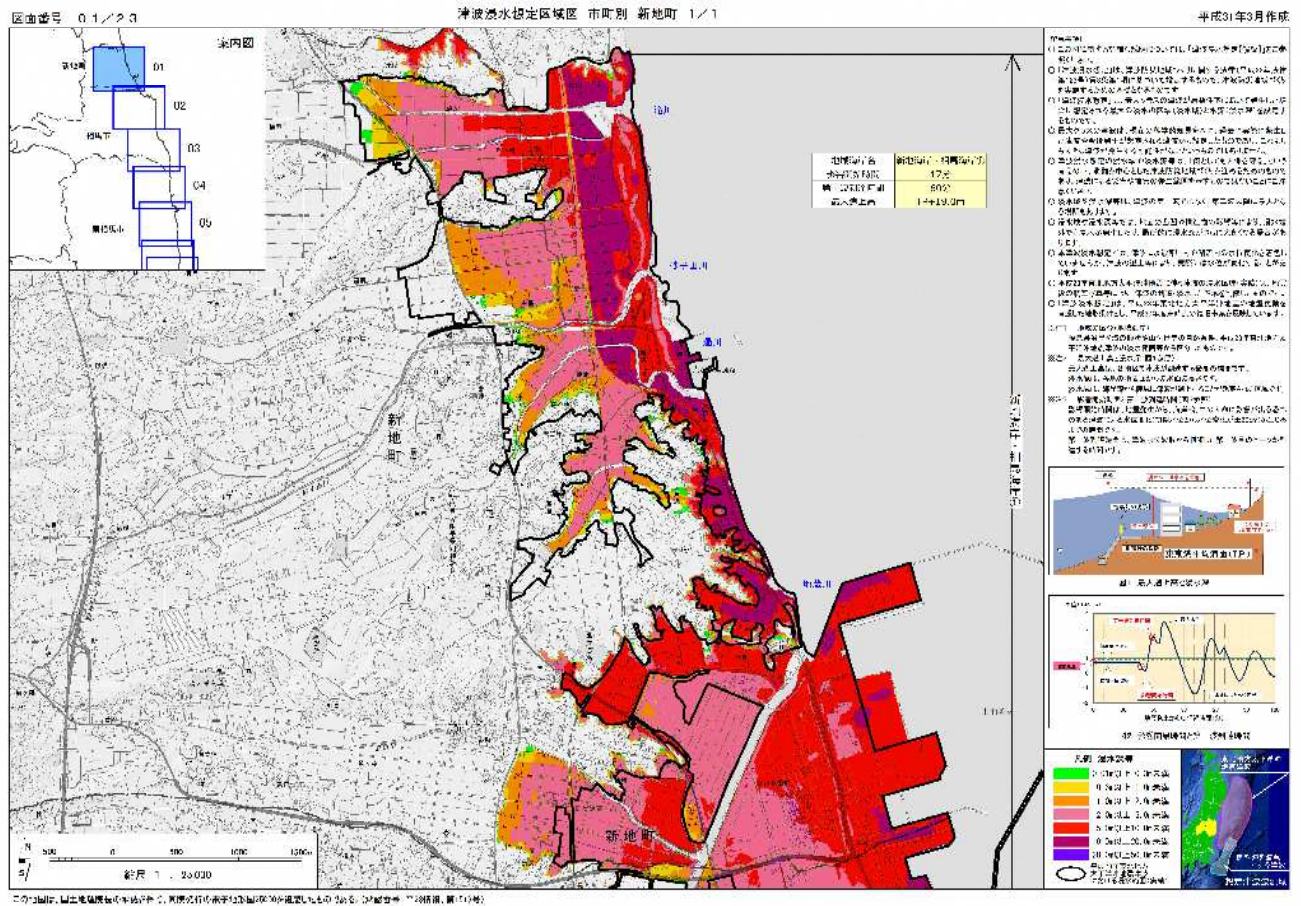


平成 30 年度津波浸水想定調査

県（河川港湾総室）は、県内の市町が作成する津波ハザードマップや津波避難計画の作成支援を目的として、津波想定を作成し、平成 31 年 3 月に公表した。

津波レベルについては、住民避難を柱とした総合的防災対策を構築する上で想定する「最大クラスの津波（L2 津波）」を想定した。

津波シミュレーションでは、「東北地方太平洋沖地震津波（内閣府モデル）」と「房総沖を波源とする津波（茨城県モデル）」を設定して、2 波源による津波シミュレーションの結果を重ね合わせて最大浸水域や最大浸水深を抽出し、最大遡上高、最大水位、影響開始時間及び第一波到達時間等を予測した。



資料

平成 23 年東北太平洋沖地震 市区町村別津波浸水範囲の土地利用別面積 (国土地理院)

【平成23年東北太平洋沖地震 市区町村別津波浸水範囲の土地利用別面積 (国土地理院)】

市町名	浸水面積 (k m <sup>2</sup> )												市町面積 (k m <sup>2</sup> ) 全体	浸水率
	田	その他の 農用地	森林	荒地	建物用地	幹線交通 用地	その他の 用地	河川地及 び湖沼	海浜	海水域	ゴルフ場	合計		
10市町計	59	3	5	1	13	2	10	7	4	8	0.5未満	112	2,456	4.6%
新地町	5	0.5未満	0.5未満	0.5未満	1	1	3	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0	11	46	23.9%
相馬市	13	1	2	0.5未満	2	0.5未満	3	1	1	6	0	29	197	14.7%
南相馬市	28	1	1	0.5未満	3	1	1	2	1	0.5未満	0.5未満	39	398	9.8%
浪江町	3	0.5未満	0.5未満	0.5未満	1	0	0.5未満	1	0.5未満	0.5未満	0	6	223	2.7%
双葉町	2	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0	3	51	5.9%
大熊町	1	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0	2	79	2.5%
富岡町	1	0.5未満	0.5未満	0	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0	1	68	1.5%
檜葉町	2	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0	3	103	2.9%
広野町	1	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	1	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0	2	59	3.4%
いわき市	2	0.5未満	1	0.5未満	5	0.5未満	3	2	1	1	0.5未満	15	1,231	1.2%

資料

気象通報等受理伝達簿

町長		副町長		総務課長		主管課長	
警報等の種類及び名称							
発令年月日		<p style="text-align: center;">前</p> <p style="text-align: center;">年 月 日 午 時 分</p> <p style="text-align: center;">後</p>					
本文							
発信機関				発信者氏名			
発信時刻				受信者氏名印			
伝達事項							
伝達開始時刻		時 分		伝達終了時刻		時 分	
伝達の方法		電話		伝令		その他	
伝達先							
その他特記事項							

資料

新地町被害（調査）票

受信者 氏名		受信 日時	年 月 日 時 分
送信者 氏名		所属部 局名等	課・局

発生年月日		年	月	日	時	現在の状況				災害の原因				
被害の概要、発生患者数等														
地区名	全戸数	全壊	半壊	流失	床上浸水	床下浸水	計	被害率	災害用 救の 助有 法無	発生患者数				備考
										軽傷	重傷	計	死者	

被害報告書様式

(1) 一般被害関係

災害の種類											
災害の発生場所		新地町									
災害発生年月日		年		月		日		時			
報告の时限		日 時現在		受信時刻		時 分					
発信者				受信者							
発信担当者				受信担当者							
人的被害	死者		人		住家の被害	世帯数及び人員	半壊及び半焼		世帯	世帯	
	行方不明		人				人員		人員	人	
	負傷	重傷		人			一部破損		世帯	世帯	
		軽傷		人			人員		人員	人	
		小計		人			床上浸水		世帯	世帯	
	計		人				人員		人員	人	
住家の被害	棟数	全壊、全焼、流失		棟		非住家の被害	民営倉庫、学校、作業所、工場等		棟		
		半壊及び半焼		棟			公営官公舎、学校、病院等		棟		
	一部破損		棟		床上浸水		棟				
	床上浸水		棟		床上浸水		棟				
	床上浸水		棟		床上浸水		棟				
	床上浸水		棟		床上浸水		棟		被害総額		千円
救活動員	全焼、全壊及び流失	世帯		世帯		消防吏員、団員		人			
		人員		人		その他		人			
		計		人		計		人			
応急措置・状況・その他											

## (2) 公衆衛生関係

被 害 状 況 報 告 書					
災 害 の 種 類					
災 害 の 発 生 場 所		新地町			
災 害 発 生 年 月 日		年 月 日 時			
報 告 の 時 限		日 時現在	発 信 時 刻	時 分	
発 信 者		受 信 者			
発 信 担 当 者		受 信 担 当 者			
ア	被 害 戸 数	全 壊	戸		
イ		半 壊	戸		
ウ		床 上 浸 水	戸		
エ		床 下 浸 水	戸		
オ	罹 災 人 口		人		
区 分		単 位	数 量	被 害 額	
カ	公 衆 衛 生 施 設	上 水 道			千円
キ		簡 易 水 道			
ク		し尿浄化槽			
ケ		じん芥処理場			
コ		隔 離 病 舎			
サ					
シ		計			
応 急 措 置 ・ 状 況 ・ そ の 他					

## (3) 農林水産業関係

被 害 状 況 報 告 書										
災 害 の 種 類										
災 害 の 発 生 場 所		新地町								
災 害 発 生 年 月 日		年		月		日		時		
報 告 の 時 限		日 時現在		発 信 時 刻		時 分				
発 信 者				受 信 者						
発 信 担 当 者				受 信 担 当 者						
区 分			件 数		数 量		被 害 額 (千円)			
ア	農 地	田	流失埋没							
イ			冠 水							
ウ		畑	流失埋没							
エ			冠 水							
オ		(再 掲)	果 樹 園							
カ			桑 園							
キ										
ク		小 計								
区 分			流失埋没	土砂流入	冠水	浸水	その他	計 (ha)	被害額 (千円)	
ケ	農 作 物 等	主要食糧農作物								
コ		そ 菜 類								
サ		果 樹								
シ		葉 た ば こ								
ス										
セ										
ソ		小 計								
区 分			件 数		数 量		被 害 額 (千円)			
タ	家 畜									
チ										
ツ	水 産 関 係	漁 船								
テ		漁 具								
ト		生 産 施 設								
ナ		その他の施設								
ニ		水 産								
ヌ										
ネ		小 計								
ノ	林 業 関 係	林 道								
ハ		林 産 物								
ヒ		林 業 施 設								
フ										

へ		小 計			
ホ	治山関係	崩 壊			
マ		地 す べり			
ミ		治 山 施 設			
ム					
メ		小 計			
モ		農業用施設関係	溜 池		
ヤ	頭 首 工				
イ	水 路				
ユ	堤 と う				
エ	道 路				
ヨ	橋 り よ う				
ラ	揚 水 機				
リ					
ル					
レ	小 計				
応状 急況 措・ 置そ ・の 他					



## (4) 商工関係

被 害 状 況 報 告 書			
災 害 の 種 類			
災 害 の 発 生 場 所		新地町	
災 害 発 生 年 月 日		年 月 日 時	
報 告 の 時 限		日 時現在	発 信 時 刻 時 分
発 信 者		受 信 者	
発 信 担 当 者		受 信 担 当 者	
区 分		件 数	被 害 額 (千円)
ア	鉱 業		
イ	工 業		
ウ	商 業		
エ			
オ	計		
応 急 措 置 ・ 状 況 ・ そ の 他			

## (5) 土木関係

被 害 状 況 報 告 書							
災 害 の 種 類							
災 害 の 発 生 場 所		新地町					
災 害 発 生 年 月 日		年		月		日	
報 告 の 時 限		日 時現在		発 信 時 刻		時 分	
発 信 者				受 信 者			
発 信 担 当 者				受 信 担 当 者			
区 分		県 分		町 分		計	
		ヶ 所	被 害 額	ヶ 所	被 害 額	ヶ 所	被 害 額
ア	河 川						
イ	海 岸						
ウ	砂 防						
エ	道 路						
オ	橋 り よ う						
カ	漁 港						
キ	港 湾						
ク							
ケ	計						
応 急 措 置 ・ 状 況 ・ そ の 他							

## (6) 教育関係

被 害 状 況 報 告 書				
災 害 の 種 類				
災 害 の 発 生 場 所		新地町		
災 害 発 生 年 月 日		年 月 日 時		
報 告 の 時 限		日 時現在	発 信 時 刻	時 分
発 信 者		受 信 者		
発 信 担 当 者		受 信 担 当 者		
区 分		単 位	数 量	被 害 額 (千円)
ア	高 等 学 校			
イ	中 学 校			
ウ	小 学 校			
エ				
オ	小 計			
カ	社会教育施設			
キ	文 化 財			
ク				
ケ	合 計			
応 急 措 置 ・ 状 況 ・ そ の 他				

(7) その他

被 害 状 況 報 告 書				
災 害 の 種 類				
災 害 の 発 生 場 所		新地町		
災 害 発 生 年 月 日		年 月 日 時		
報 告 の 時 限		日 時現在	発 信 時 刻	時 分
発 信 者		受 信 者		
発 信 担 当 者		受 信 担 当 者		
区 分		単 位	数 量	被 害 額 (千円)
ア				
イ				
ウ				
エ				
オ				
カ				
キ				
ク				
ケ				
応 急 措 置 ・ 状 況 ・ そ の 他				

資料

避難命令及び状況報告簿

新 地 町

避 難 指 示						避 難 状 況			備 考
災害種別	避難命令日時	地区名	世帯数	人員	避難予定場所	世帯数	人員	避難期間	

資料

避難所収容者名簿

新 地 町

住 所	世帯主氏名	世帯人員	避難所											
			避難所収容期間											
			月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日				

資料

避難所収容台帳

新 地 町

責任者 認印	月 日	収容 人員	物品使用状況		記 事	備 考
			品 名	数 量		
計						

資料

避難所用物品受払簿

新 地 町

品 名	単位呼称					
年 月 日	摘 要	受	払	残	備 考	

資料

## 避難所設置及び収容人員

新 地 町

避難所の 名 称	所 在 地	種 別	設 置 期 間	実員数	開設 日数	延人員	備 考
			月 日から 月 日まで				
			月 日から 月 日まで				
計			月 日から 月 日まで 日間				
			月 日から 月 日まで 日間				

資料

## 避難所開設用施設及び器物借用簿

新 地 町

名 称	品名(施設)	数量	期間	1日当り借上費	金 額	所有者(管理者)氏名

資料

## 救出車両、その他機械器具調達先報告書

新 地 町

品 名	数量	所 有 借上の別	調 達 先			機械器具等 所在場所	輸送 方法	備 考
			名称(責任者)	所在地	電 話			

資料

## 被災者救出状況記録及び修繕簿

新 地 町

年月日	救出 地区	救出 人員	救出用機械器具				修 繕				備 考
			名 称	数 量	所有者 氏 名	金額 円	故障 月日	故障の 概 要	修繕 月日	修繕費 円	

(注) 1 救出用機械器具は、借上費の有無償の別を問わず記入し、有償の場合のみ借上費を「金額」欄に記入する。

2 修繕の故障の概要は、故障の原因及び主な破損箇所を記入する。

資料

被災者救出用機械器具燃料受払簿

新 地 町

品 名			単位呼称		
年 月 日	摘 要	受	払	残	備 考

資料

救助実施記録日計票

新 地 町

救 助 の 種 類	避	炊	水	救出	新 地 町 責 任 者 氏 名 印 地区責任者 氏 名 印
	修理	学	死捜	死処	
	障	○	○	○	
	○	○			
No. _____ 月 日 時 分					
員 数 (世帯)					
品目 (数量金額)					
受 入 先					
払 出 先					
場 所 方 法 記 事					

資料

障 害 物 除 去 該 当 者 調

新 地 町

番号	被災 台帳 番号	氏名	職業	住所	人員数	同上中 可動力差	生活程度	被害 程度	障害物 除去予 定個所	備考	実施 有無
							上・中・ 被保護				

資料

障害物除去該当者選考調書

新 地 町

校区名		行政区名		対象者	住 所		氏名		
調査員調査事項	動産				職 業				
	資産状況								
	不動産								
被災の概要					家庭の概要				
行 政 区 意 見									
民 生 委 員 意 見									
調 査 者 総 合 意 見									
要 施 行 有 無								調査員	印

資料

障 害 物 除 去 の 状 況

新 地 町

住家被害程度 区 分	氏 名	除去に要した 期 間	実 支 出 額	除去に要すべき 状態の概要	備 考
		月 日～ 月 日	円		
計	半壊（焼）	世帯			
	床上浸水	世帯			



## 輸 送 記 録 簿

新 地 町

輸送 月日	目的	輸送 区間 (距離)	借上等		修繕					燃料費	実支 出額	備考	
			使用車両等		金額	故障車両等		修繕 月日	修繕費				故障の 概 要
			種類	台数		名称 番号	所有者 氏 名						
					円				円	円	円		
計													

- (注) 1 「目的」欄は主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。  
 2 都道府県又は市町村の車両等による場合は、「備考」欄に車種番号を記入すること。  
 3 借上車両等による場合は有償、無償を問わず記入すること。  
 4 借上等の「金額」欄には、運送費又は車両等の借上費を記入すること。  
 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。

## 救 助 の 種 目 別 物 資 受 払 状 況

新 地 町

救助の種目別	年月日	品名	単位 呼称	摘 要	受	払	残	備 考
燃料及び消耗品								

- (注) 1 「摘要」欄に購入又は受入先及び払出し先を記入すること。  
 2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入すること。  
 3 各救助の種目別最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。なお、物資等において、都道府県よりの受入分及び市町村調達分がある場合には、それぞれの別に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。  
 4 救護班による場合には、救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記入すること。なお、「備考」欄に払高数量(使用数量)に対する金額を記入すること。

資料

炊 出 し 給 与 簿

新 地 町

責任者氏名

印

給食年月日		給食数	実 施 場 所	給 食 内 容	備 考
年 月 日	区分				
	朝				
	昼				
	夕				
計	朝				
	昼				
	夕				

- (注) 1 炊出しを実施した直後の責任者ごとに作成すること。  
 2 「実施場所」の欄は、学校等実際に炊出しその他による食品の給与を実施した場所を記入すること。  
 3 「給食内容」の欄は、献立「にぎり飯、つけもの、乾パン、牛乳」等と記入すること。

資料

食 糧 品 現 品 給 与 簿

新 地 町

責任者氏名

印

給与年月日	給与人数	食数	给与物品内訳				受 領 者				備 考
			米	パン	缶詰		住 所	世帯主氏名	家受族領数印	避 難 先市町村名	

資料

炊出しその他による食品給与物品受払簿

新 地 町

責任者氏名

印

品 名	精 米	単 位	k g		備 考
年 月 日	摘 要	受	払	残	
計					

資料

## 炊出し用物品借用簿

新地町

責任者氏名

印

品名	数量	期間	金額	所有者氏名	使用炊出所の名称					備考

資料

## 飲料水供給記録簿

新地町

責任者氏名

印

供給年月日	供給地区名	供給水量	対象人員	給水用機械器具			金額	備考
				名称	数量	所有者氏名		

資料

## 給水用機械器具燃料及び浄水用薬品資材受払簿

新地町

責任者氏名

印

品名	単位 呼称				
		受	払	残	備考
年月日	摘要				
	計				

- (注) 1 「摘要」欄に購入先又は受入先及び払出を記入すること。  
 2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入しておくこと。  
 3 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

資料

## 給水用機械器具修繕簿

新地町

責任者氏名

印

機械器具 の名称	所有者氏名	故障年月日	故障の概要	修繕年月日	修繕費	備考

応急給水（給水施設応急復旧）機械器具 薬品調達先

新 地 町

品 名	調達（借上）可能数量	調 達 （借 上 先）			在庫場所	輸送方法	備考
		名称責任者	住 所	電話番号			
自 動 車	台						
マイクロバス							
ダンプ2 t							
ダンプ10 t							
ダンプ4 t							
ダンプ2 t							
バックホー							
ブルドーザー							
タイヤショベル							
バックホー							
ダンプ4 t							
ダンプ2 t							
ユニーク							
水中ポンプ							
消防ポンプ							
消毒薬品							

救助物資購入(配分)計画表

全焼分（夏季）

新 地 町

町

	1 人		2 人		3 人		4 人		5 人		6 人		7 人		8 人		9 人		10 人		計		
	数	世帯数	数	世帯数	数	世帯数	数	世帯数	数	世帯数	数	世帯数	数	世帯数	数	世帯数	数	世帯数				世帯数	
毛 布																							
大人シャツ																							
大 人 ズボン下																							
作業服 シャツ																							

- (注) 1 本表は全焼等と半焼等と分けて作成すること。  
 2 各世帯区分の数量×世帯数はそれぞれの品目の所要数となる。

資料

世帯員別被害状況

新地町

年月日 時現在第 号

世帯構成 員別 被害別	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	10人以上	計	小学校	中学校
	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯			
全壊(焼)														
流失														
半壊(焼)														
床上浸水														

(注) 全壊(焼)・流失及び半壊(焼)・床上浸水別・大人・小人及び男女別%を報告すること。

資料

救助物資受払簿

新地町

品名	単位呼称					
年月日	摘要		受	払	残	摘要
	計	県調達分	円			
		町調達分	円			

資料

救助物資引継書

輸送責任者職氏名

印

受領責任者職氏名

印

救助用の物資次の通り引継ぎました。

記

- 1 引継月日
- 2 引継場所
- 3 品目数量 次の通り

品目	単位	輸送数量	引継数量	差引過不足	過不足を生じた理由その他

資料

救助物資給与及び受領簿

新 地 町

被災台帳番号			
住家被害 程度区分		給与の基礎 となった世 帯構成員数	人（災害発生時世帯員数 人のうち 人死亡）
			中学生 人 小学生 人

災害救助用物資として下記内訳のとおり受領いたしました。

住 所

世帯主氏名

印

給与年月日	品 名	数 量	備 考	給与年月日	品 名	数 量	備 考

資料

被災使用教科書等調

新 地 町

被災 台 帳 番 号	児 童 氏 名	中 ・ 小 別	学 年	保 護 者 (世帯主)	受 領 印	教 科 書														
						国 語	算 数	数 学	社 会	理 科	音 楽	図 工	地 図	英 語	保 体	書 写	ノ ー ト	鉛 筆	洋 傘	下 敷
	合 計																			

(注) 本表は学年別に分けて作成すること。

資料

患者移送車両

新 地 町

調 達 先	保 有 台 数	備 考

資料

救護班編成及び活動記録

班

新 地 町

期 間	町村名	診療患者数	遺体 検案書	班 の 編 成	班長職氏名	備 考
月 日から 日間 月 日まで	新地町	内科 人 外科 人		医師 人 看護師 人 その他 人		

資料

診療所医療実施状況

新地町

診療機関名	診療期間	診療人員		診療報酬点数	金額	備考
		入院	通院			

資料

救助の種目別物資受払状況

新地町

救助の種目別	年月日	品名	単位 呼称	摘要	受	払	残	備考

- (注) 1 「摘要」欄に購入又は受入先及び払出し先を記入すること。  
 2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入すること。  
 3 各救助の種目別最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。なお、物資等において、都道府県よりの受入分及び市町村調達分がある場合には、それぞれの別に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。  
 4 救護班による場合には、救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記入すること。  
 なお、「備考」欄に払高数量（使用数量）に対する金額を記入すること。

資料

助産台帳

新地町

分 べ ん 者			分べんの 日時場所	助 産 機関名	期 間	金 額	備 考
住 所	氏 名	年令					

## 災害防疫経費所要見込額調

(A) 県支弁分 省略

(B) 新地町支弁分

新地町

事 項	区 分	点数	単価	金額	備 考
(1) 予防委員に関する諸費	(1) 委員手当 (2) 重点旅費				
(2) 新地町において施行する清潔方法及び消毒方法に要する経費	(1) 清潔方法に要する経費 (2) 消毒方法に要する経費				内訳別紙 (ア) のとおり 内訳別紙 (イ) のとおり
(3) 予防救治のため雇入れた医師その他の人員及び予防上必要な器具薬品その他の物件に関する諸費	(1) 人員雇上費 a 医師又は薬剤師 b 看護師 c その他 (2) 器具費 (3) 薬品費 (4) その他の物件費				
(4) 臨時隔離病舎諸費	(1) 設置費 (2) 医療費 (3) 人件費 (4) その他の経費				
(5) 予防救治に従事した者に給すべき手当療治料及びその遺族に給すべき救助料	(1) 特別勤務手当 (2) 療治料 (3) 扶助料 (4) 弔祭料				
(6) 交通遮断隔離に関する諸費及び交通遮断隔離のため又は一時営業を失ったための自活不能者の生活費	(1) 交通遮断及び隔離に要する経費 (2) 生活補給費				
(7) 新地町において発見した伝染病貧民患者及び死者に関する諸費	(1) 貧民患者生活補給費 (2) 遺体消毒費 (3) 埋火葬費				
(8) 新地町において施行するねずみ族昆虫等の駆除及びその供給に関する諸費					内訳別紙 (ウ) のとおり
(9) 法第7条の2による家用水の供給に関する諸費					
合 計					



(ア) 清潔方法に要する経費内訳

科 目	員 数	単 価	金 額	備 考
賃 金 消 耗 品 費 薬 品 費 運 搬 費 計				実施戸数 戸

(イ) 消毒方法に要する経費内訳

科 目	員 数	単 価	金 額	備 考								
賃 金 消 耗 品 費 薬 品 費 運 搬 費 備 品 費 計				実施戸数 戸 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>備品の品目</th> <th>員数</th> <th>単価</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	備品の品目	員数	単価	金額	計			
備品の品目	員数	単価	金額									
計												

(ウ) ねずみ族昆虫駆除費内訳

科 目	員 数	単 価	金 額	備 考								
賃 金 消 耗 品 費 薬 品 費 借料及び損料 運 搬 費 修 繕 費 備 品 費 計				実施戸数 戸 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>備品の品目</th> <th>員数</th> <th>単価</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	備品の品目	員数	単価	金額	計			
備品の品目	員数	単価	金額									
計												

## 伝染病院隔離病舎災害復旧費所要額調

新 地 町

調 査 区 分	事 項
① 施設設置主体 ② 施設の名称 ③ 所在地 ④ 設置年月日 ⑤ 施設の種類 ⑥ 受託医療機関の名称 ⑦ 病床数	単独伝染病院・併設・単独・隔離病舎の別
⑧ 施設設置主体人口 の年間利用延患者数 状況 建築構造	
⑨ 被災年月日及び被害状況	(1) 年 月 日 被災 (2) 被災の原因 (3) 将来の利用価値等参考となるべき事項
⑩ 破 損 個 所 (図面及び写真添付のこと)	
⑪ 損 害 額	円
⑫ 復 旧 費	
⑬ 調 査 年 月 日	① 年 月 日
調 査 担 当 者	② 所属 氏名 印

## ねずみ族、昆虫等の駆除申請手続

番 号  
年 月 日

福島県知事 殿

新地町長 印

## 伝染病予防法施行令第8条第4号の地域指定の申請について

月 日災害により、次のとおり被災が発生し、伝染病流行のおそれがあるので、伝染病予防法施行令第8条第4号の規定に基づいて、ねずみ族昆虫駆除の地域として指定されるよう申請する。

- 1 災害発生日時
- 2 災害の種類
  - (1) 原因
  - (2) 経過
- 3 被害の概況
- 4 ねずみ族昆虫駆除の開始及び終了予定年月日
- 5 ねずみ族昆虫駆除実施予定地域

## 昆虫駆除薬剤所要量の算出方法

薬 剤 の 種 類	薬 剤 量 算 出 方 法
オルソジクロールベンゾール剤 (オルソジクロールベンゾールの 含有量50%以上)	(便池) 指定地域内の被災戸数×10 $(10\text{あたり使用量は}50\text{倍液にして}30) \times \frac{3}{5}$

※ なお詳細は、伝染病予防法施行規則（大正11年9月30日内務省令第24号）の第6章第27条の2項を参照のこと。

1	災害発生年月日
2	災害の原因
3	被害の概要
4	町のとった措置の概要
	(1) 災害防疫本部の活動
	(2) 災害援助活動
	ア 医療救護
	イ 給水作業
	(3) 災害防疫活動
	ア 予 防 宣 伝
	イ 調 査 指 導
	ウ 検 病 検 査
	エ 患 者 処 理
	オ 飲料水の確保及び井戸の消毒
	カ 家屋の消毒及び消毒薬の使用方法
	キ ねずみ族昆虫駆除の実施方法
	ク 避難所の防疫指導
	ケ し尿処理の指導
	コ でい土、堆種物の処理及び清潔方法
5	伝染病の発生状況
6	予防接種
7	伝染病隔離病舎の被害状況
8	予算の概要

救助の種目別	年月日	品名	単位 呼称	摘 要	受	払	残	備 考
被災者救出用機械器具燃料								

- (注) 1 「摘要」欄に購入又は受入先及び払出し先を記入すること。  
 2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入すること。  
 3 各救助の種目別最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。なお、物資等において、都道府県よりの受入分及び市町村調達分がある場合には、それぞれの別に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。  
 4 救護班による場合には、救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記入すること。なお、「備考」欄に払高数量（使用数量）に対する金額を記入すること。

## 資料

## 遺体の搜索状況記録簿

新 地 町

年月日	搜索 人員	搜索用機械器具								実 支 出 額	備 考
		名称	借上費			修繕費			燃料費		
			数量	所有者 (管理 者) 氏名	金額	修 理 月 日	修繕費	修繕の 概 要			
計											

(注) 1 他市町村に及んだ場合には、備考欄にその市町村名を記入すること。

2 借上費については有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合にのみ、借上費「金額」欄に記入すること。

3 「修繕の概要」欄には、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

## 資料

## 遺 体 処 理 台 帳

新 地 町

死 亡 年月日	死亡 原因	遺 体 の 発見日時 及び場所	死 亡 者		遺 族		措 置 費			遺体一時保 存の場所及 び期間	備 考
			住所氏名	年 齢	住所氏名	続 柄	品 名	数 量	金 額		

(注) 死亡年月日及び死亡原因は死亡診断書より記入すること。

## 資料

## 埋 葬 台 帳

新 地 町

死 亡 年月日	死亡 原因	埋 葬 年月日	死 亡 者		埋葬を行なった者		埋 葬 費				備 考	
			住所氏名	年 令	死亡者 との 関 係	住所氏名	付属品	埋火 葬料	骨箱	計		

(注) 死亡年月日及び死亡原因は死亡診断書より記入すること。

資料

学用品購入（配分）計画表

新地町

品名	単価	小中学生別		小学生						中学生						合計		備考
		区分	種別	全焼(壊)			半焼(壊)			全焼(壊)			半焼(壊)			数	金	
				流失分	数量	金額	床上浸水分	数量	金額	流失分	数量	金額	床上浸水分	数量	金額			
		児童数	数量	金額	児童数	数量	金額	児童数	数量	金額	児童数	数量	金額	児童数	数量	金額	数量	金額

資料

被災教科書一覧表

年月日現在

新地町 学校

区分	学年	発行者名	教科書記号番号	教科書名	冊数	単価	金額	被害区分	備考

(注) 学校別に記載のこと。

資料

教科書購入（配分）計画表

新地町 学校

教科	教科書名	学年		1年			2年			3年			4年			合計		備考
		区分	単価	児童数	単価	金額	児童数	単価	金額	児童数	単価	金額	児童数	単価	金額	児童数	金額	
計																		

資料

応急仮設住宅入居該当調

新 地 町

番号	被災台帳 番 号	氏 名	職 業	住 所	家 族 人 員		生活程度	摘 要
					人員数	同 上 中 可働力者		
1							上中下 保護世帯	
2								
3								

資料

応急仮設住宅該当対象者選定調書

(住宅の応急修理施行)

新 地 町

被災台帳番号									
学区名		町 (行政区) 名		対象者住所		氏名			
調 査 員		資産の状況		職 業					
調 査 事 項		被災の概要		家庭の概要					
町 (行政区長) の意見									
民生委員の意見									
調査員総合意見									
要 施 行		有 無		調査員					印

資料

応 急 仮 設 住 宅 台 帳

新 地 町

応急仮設 住宅番号	世帯主 氏 名	家族数	所在地	構造 区分	面積	敷地 区分	着工 月日	竣工 月日	入居 月日	実 支 出 額	備 考
		人					月日	月日	月日	円	
計											

(注) 1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、設置個所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。

2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。

3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。

4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別を記入する。

5 「敷地区分」欄は、公私有別とし、有償、無償の別を明らかにすること。

6 「備考」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。

## 住宅応急修理記録簿

新地町

世帯主氏名	修理箇所概要	完了月日	実支出額	摘要
		月 日	円	
計 世帯				